



令和5年度 学校を支える人たちを紹介します

令和5年度が始まり、一カ月半が過ぎました。マスクの着用が原則不要となり新たな学校生活が始まりました。4月19日の制限なしの授業参観・学級懇談会、4月26日の全校児童が体育館に参集しての一年生を迎える会を実施することができ、対面の良さを改めて感じる事ができた一ヶ月半でした。

ただ、全てを以前と同じように行うのではなく、それぞれの目的や方法を見直し、確認しながらの一年間になると思います。地域・保護者・学校で、よりよい学校にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

1 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

本校では2年目となるコミュニティ・スクールとは、保護者や地域住民等が、一定の権限と責任を持って学校運営に参画する仕組みである「学校運営協議会」を置く学校です。学校運営協議会は、「学校運営の基本方針の承認」、「学校運営に関する意見」等の主な役割があり、地域と一体となって特色ある学校づくりと進めていくことができます。

第1回学校運営協議会を5月10日に開催しました。委員の皆さんに授業参観をしていただき、その後、子供たちの様子について意見交換をしました。協議では、校長が令和5年度の経営方針や新型コロナウイルス感染症に関する新しい生活様式、エレベーター工事について説明しました。委員の皆さんからは、「児童のマスクについて」「不登校・いじめの現状」「学級目標の位置付け」「話し合いをしながら進めている授業について」等、貴重な意見をいただくことができました。今後も、様々な予測困難な事態が生じたときに、本協議会で、保護者、地域の方と一緒に話し合って進めていきたいと思っております。

（委員の紹介）

氏名	所属・役割等
秋津 淳一	373サポーターズ実行委員長
加藤 竜一	373サポーターズ実行副委員長
深沢 香奈	佐野美術館学芸員
石井 真人	373サポーターズコーディネーター
小川 みどり	たんぼぼ代表 373サポーターズ実行委員
芹澤 将幸	PTA 会長

校長、教頭(2名)、主幹教諭

(敬称略)

2 373サポーターズ（地域学校協働本部）

地域学校協働本部は、地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支えていくことを目的としています。放課後学習支援、体験・交流活動、授業支援や学校行事等の支援などを行っています。

第1回実行委員会が5月1日に開かれ、今後の支援について話し合われました。

南小では、・スクールガード(通学路の見守り) ・うさぎの世話、花壇の水やり(長期休業中)

・放課後学習教室(今年度は、大学生による支援が加わります。)

・レパトリーの指導補助

3 南小おやじの会（PTA活動）

おやじの会は、入学式写真撮影お手伝い、環境整備作業お手伝い等、学校の教育活動を支えてくださったり、「カエルキャラバン(防災)」、「おやじと泊まろう」「おやじともちつき」等父親が様々な楽しい活動を企画したりしてくれています。

4 たんぽぽの会（PTA活動）

たんぽぽの会は本の読み聞かせ活動を行っています。いつも子供たちのために楽しい本の読み聞かせをしてくださっています。子供たちも大変楽しみにしています。図書室の整備も手伝ってくれています。

5 創立150周年記念事業実行委員会

昨年度は、創立150周年で式典を行いました。現在、ちから山大作戦、沿革誌の作成を継続中です。

一年生を迎える会

コロナ禍では、体育館に全校児童が集まることはできませんでしたが、今年度は、参集して実施することができました。ペアの6年生と手をつないでの入場、各学年からの心のこもったプレゼント、そして、1年生の元気なかわいらしいダンス、オンラインでは感じる事ができない良さがあり、心の温まる会になりました。



PTA環境整備作業 ～ありがとうございました～



PTA厚生部が中心となり、5月20日(土)に環境整備作業が行われました。お忙しい中、たくさんの方が参加してくださいました。夏を迎えるにあたり、エアコンや扇風機、側溝、プールなどの清掃、トイレの整備等子供たちが安全に安心して学ぶことができる環境を整えてくださったことに厚く御礼申し上げます。

「あいさつが くせになっちゃう」

子供たちの登校の様子を見守りながら、あいさつを交わしています。その中で、気持ちのよいあいさつができる子供が何人もいて、元気をもらっています。いつも先にすてきなあいさつをしてくれる子供に、「どうして、そんなすてきなあいさつができるの?」と聞いたところ「あいさつがくせになっちゃう。あいさつをしないと気持ち悪い。」と答えてくれました。すでに「あいさつ」が習慣化している子もいます。

今年の重点は、「主体的な子供の育成」です。「先手 挨拶 後手 返事」という言葉があります。自分から進んで、あいさつができる子供を育てていきたいと思います。家庭でも「あいさつ」の大切さを伝えていただければと思います。